

『芸術、文化、教育の役割、そして未来の発展は人間の繊細な知覚に目覚め、支配の圧力を打ち砕き、自らを地球の一部として認識する事にしかない。』

ヨゼフ・マイヤー

アンタゴンについて

アンタゴン・シアターアクションは1990年にベルンハルド・ブブによって車輪上の劇場として設立され、独立運営のフランクフルトのパフォーマンス・シアターである。現代をモチーフに、そして同時に忘れ去りつつある伝統の軌跡を根とする劇団である。力は人々が彼等の強さと弱さを持って集まった所に宿る。それは現代社会の早急な移り変わりや金銭で得ることのできない長いプロセスにある。有機的な劇の要素は真実と人生に直接関与する、人間を最も中心に置く。私達の作品制作はプロジェクトに関わる人々によって進展する。生活と仕事は製作に密に繋がっている。アンタゴンは世界中からのパフォーマーと身体、声、表現ダンス、アクロバット、竹馬、即興、音楽、炎、彫刻的舞台美術から成る。

『演劇とは暴力ではなく振動である。そこには社会の形が体現される。台風に対してそれは水や風のごとく刻々と移り変わる地球の表情のようだ。』 オマー・ヴァリニョ

パフォーマンスの位置

ドイツランド		ヨーロッパ	ルーマニア
Altenkirchen	Luebeck	Graz (A)	Sibiu
Bad Vilbel	Ludwigsburg	Villach (A)	
Berlin	Ludwigshafen	Andalusien (E)	アルメニア
Boeblingen	Mainz	Almeria (E)	Yerevan
Borken	Mannheim	Barcelona (E)	
Brandenburg	Memmingen	Fernan Perez (E)	ラテンアメリカ
Bremen	Oldenburg	Tarrega (E)	Santiago de Chile (チリ)
Chemnitz	Plauen	Valladolid (E)	Bogota (コロンビア)
Diez	Rastatt	Zaragoza (E)	Havanna (クバ)
Erding	Ruesselsheim	Aurillac (F)	Quito (エクアドル)
Erfurt	Saarbruecken	Chalon sur Saone (F)	
Esslingen	Schwerin	Lille (F)	メキシコ
Frankfurt/ M.	Schwerte	Limoges (F)	Cancun
Garbsen	Trier	Perigueux (F)	Chetumal
Gera	Unna	Sottville (F)	
Goerlitz	Weimar	Luxemburg (L)	ブラジル
Hachenburg	Wiesbaden	Amsterdam (NL)	Porto Alegre
Hagen	Wolfen	Udenhout (NL)	Riberao Preto
Halle	Wuerzburg	Guarda (P)	Rio de Janeiro
Hanau		Jelenia Gora (PL)	Sao Paulo
Isny		Poznan (PL)	
Koblenz			
Laerz			
Lauterbach			
Limburg			

タイム・アウト

今世紀のカオスの始まりは私達をまだ見ぬ未知の力に出会わせた。地球の人類の、市民の境界は今程はっきりとしたことはない。私達はこの数年の劇団の経験を通して、日毎この現実を感じる。ここに私達の新しいプロダクション『タイム・アウト』が始まる。

タイム・アウト！ もしくは休止。
時計を止める。一時見つめ、考える。
熟考する。

私はどこから来たの？ どこにいる？ どこへ行く？

求めているものは過去に過ぎ去ったものなのか、それとも今日の前に存在しているのか。夢か、現実か。私達が出会いたいものは感情。新しいアンタゴンのパフォーマンスは現実と幻想が溶け合い、観客を幻惑の世界へと誘う。

このパフォーマンスは過去と現実のイメージから、新しい未来の視野を表現する。

『アンタゴンのアリーナの円形舞台でアンタゴンシアターは圧力と暴力との戦いをサイエンスフィクションの形式で演出した。竹馬の哀れなクリエーターは鎖に繋がれ地下の牢獄で鞭打たれる。兵隊は前進する。人類は皮膚を脱ぎ捨てるが、それでもなお縛られたままであることを認識する。全体の雰囲気は音楽のリズムと踊りと印象的な舞台美術に培われる。絵画的なアンタゴンのショーは随時変化する気分と関係性の転覆にある。』

(Trottoir Heft 40番、9月から11月まで、Szene Rhein/Main)

私達はどんな時代に住んでいますか。
何が私達のリズムを生かしますか。

『鉄はネジ曲がり花道は燃え上がり1メートルの高さの竹馬のパフォーマーはステージを回転する。観客は身じろぎすることもできない。』

(Frankfurter Rundschau 8月4日2003年、Kultur Frankfurt)

70分のアンタゴン御墨付きのムーヴィングシアター！